

第九十回
帝國議會
貴族院

金融緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會議事速記録第七號

付託議案

○金融緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)

○日本銀行券預入令(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第九十號(承諾ヲ求ムル件)

○臨時財産調査令(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第二百二十八號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第一百十一號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第二百二十七號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第一百五十九號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第七十九號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第八十號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第二百四十一號(承諾ヲ求ムル件)

○昭和二十一年勅令第二百四十二號(承諾ヲ求ムル件)

昭和二十一年七月二十三日(火曜日)午前十一時二十分開會

○委員長(男爵周布兼道君) 是ヨリ開會致シマス、前回ノ御質問ノ際御要求ガゴザイマシタノデ、大藏大臣ニ御出席ヲ願ヒマシタ、就

キマシテハ大臣ニ對スル御質問ヲ此ノ際願ヒタイト思ヒマス

○種田虎雄君 先般來、金融緊急措置令其ノ他十一ノ勅令案ニ付キマシテ政府御當局カラ懇切ナル御説明ヲ承リマシテ、又種々ノ資料ヲ戴イタノデアリマスガ、是等ヲ拜見致シマス、先ヅ第二ニ金融緊急措置令ノ提案理由ノ中ニ謳ツテアリマスヤウニ、緊急食糧對策ノ實施ト併行シテ、既存ノ過剩購買力ノ主要源泉デアル過剩現金及預金ノ一時封鎖ヲシテ、新規計畫ノ下ニ資金使用ノ適正ナル調整ヲ行ツテ、社會經濟ノ安定ニ備ヘル緊急ノ必要アリトノ理由デゴザイマシタ、此ノ勅令ニ關聯シマシテ

一二ノ勅令ガ出テ居リマスルガ、此ノ勅令ヲ御公布ニナツテ今日ニ至ル迄ノ實情ヲ仔細ニ考ヘテ見マスト、ドウモ所期ノ目的ヲ十分ニ達成サレテ居ラナイヤウナ氣ガ致スノデアリマス、勿論今日迄ノ社會經濟界ノ情勢ノ變化、之ニ伴ヒマシテ、政府御當局ハ非常ニ御苦心ヲナスツテ居ル點モ十分承致シタノデアリマス、併シ政府ノ

斯クノ如キ色々ノ御施策ガドウモ統一徹底ヲ缺イテ居ルノデヤナイカ、只今申シマシタ金融緊急措置令ナルモノハ通貨ノ面カラ色々御勸案ナスツタコトト思フノデアリ

マス、是ト併行シテ物ノ面カラ適切ナル施策カ行ハレナケレバナラヌ然ラズンバ社會經濟ノ安定ト云フコトハ到底出來ナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、ドウモ甚ダ失禮ナコトヲ申シマスカ分リマセヌガ、政府部内ニ於テモ、部局ヲ異ニシマスルト其ノ立場ニ於テ區々タル方針ノ下ニ色々ノ施策ヲ進メラレテ居ルヤ

ノ感ガスルノデアリマス、又國民モ此ノ政府ノ施策ニ對シテ十分ノ協力ヲシテ居ラヌト云フ風ナ傾向モアルノデアリマス、國民ガ政府ノ施策ニ協力シナイト云フコトハ或ハ政府ニ對シテ十分ノ信用ヲ拂ツテ居ラヌト云フコトニモナルノ

デヤナイカトモ思ハレルノデアリマシテ、社會デヤカマシク言ツテ居リマス「インフレ」防止、物價ノ安定ト云フヤウナコトハ、最も緊急施策ノ中ノ緊要ナモノト思ヒマスルガ、是等ノ對策ニ付キマシテハ、甚ダ遺憾ノ點ガ多イヤウニ思フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ國民經濟ニ極メテ重大ノ關係ヲ持ツ施策ヲ緊急勅令デ之ヲ實施ナサルト云フノニハ、餘程其ノ效果ノ如何ト云フコトニ付テ、事前ニ十分御検討ヲ願ハナケレバナラヌ問題デヤナイカト思フノデアリマス、只今申上ゲル通り、此ノ措置令ガ

出マシテカラ預金ハ封鎖サレテ居リマス、併シナガラ新シク又通貨ノ發行ヲ見、通貨ハ段々膨脹シテ遠カラズ元ノ措置令實施前ノ状態ニナルノデハナイカト云フヤウナ氣モ致スノデアリマス、殊ニ所謂新圓ノ退藏ト申シマスカ、偏在下申シマスカ、サウ云フヤウナ事實ハ極メテ顯著ナ傾向ヲ辿ツテ居ルヤウニ思ヒマス、斯ウ云フヤウナ情勢ノ下ニ、或ハ財産稅ヲ施行サレルトカ、或ハ所得稅ヲ徵セラレ

ント云フヤウナコトニナリマスルナラバ、先般モ或委員カラ御當局ニ伺ヒマシタ通り、是ハ社會ノ公正ノ見地カラ考ヘマシテモ、誠ニ面白カラザル結果ヲ見ルノデハナイカ、或ハ社會不安ト云フヤウナコトガ之ニ依ツテ助長サレルノデハナイカト云フヤウナ心配モアルノデアリマス、今日ノ如ク民主主義ノ叫バレテ居リマスル時代ニ於キマシテ、斯ウ云フ緊急勅令ノ形

デ以テ今後國民ノ利害休戚ニ極メテ重大ナル關係ヲ持ツテ居リマスル色々ノ施策ヲ、政府トシテ御實行願フコトハ如何カト思フノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテドウ云フ御考デイヤラ

シヤラレマスカ、此ノ點ヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ第二ニハ、他ノ勅令ニ依ツテ

見マス、相當石炭ナリ、或イハ生鮮食料品ナリ、其ノ他色々ノ問題ニ對シマシテ、或ル價格調整上ノ必要カラ、交付金ヲ支出サレテ居ルトカ、其ノ他色々ノ資金ガ出テ居ルノデアリマス、殊ニ石炭、生鮮食料品等ノ價格調整ノ爲ニ政府ガ支出サレマスル金額ハ十數億圓ニ上ツテ居リマス、是ハ相當大

キナ金額ト思フノデアリマスガ、斯カル莫大ナル金額ヲ支出サレマシテ、而モ其ノ實效ガ擧ツテ居ルカドウカト云フコトニ付テ考ヘテ見マス、是モドウモ十分ナ效果ガ擧ツテ居ラヌノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、先般モ此ノ席デ伺ヒマシタガ、石炭ノ價格調整ニ要スル金額ノ如キ石炭ノ優良ナルモノニ對シテ相當ノ金額ヲ御支出ニナルコトハ、是ハモウ當然ノコトデアリマス、併シナガラ聞ク所ニ依リマス、所謂「ボタ」ト稱シマシテ、殆ンド燃料トシテ使フコトノ出來ナイヤウナ炭質ノモノニ迄矢張り此ノ調整金ガ出テ居ルノデハナイカト云フヤウナコトモ窺ハレルノデアリマス、斯クノ如キ重大ナル金額ノ支出ニ當リマシテハ、餘程事態ヲ掘下ゲテ御研究ヲ願ハナクチャナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、先般モ此ノ席デ伺ヒマシタノ

出マシテカラ預金ハ封鎖サレテ居リマス、併シナガラ新シク又通貨ノ發行ヲ見、通貨ハ段々膨脹シテ遠カラズ元ノ措置令實施前ノ状態ニナルノデハナイカト云フヤウナ氣モ致スノデアリマス、殊ニ所謂新圓ノ退藏ト申シマスカ、偏在下申シマスカ、サウ云フヤウナ事實ハ極メテ顯著ナ傾向ヲ辿ツテ居ルヤウニ思ヒマス、斯ウ云フヤウナ情勢ノ下ニ、或ハ財産稅ヲ施行サレルトカ、或ハ所得稅ヲ徵セラレ

ント云フヤウナコトニナリマスルナラバ、先般モ或委員カラ御當局ニ伺ヒマシタ通り、是ハ社會ノ公正ノ見地カラ考ヘマシテモ、誠ニ面白カラザル結果ヲ見ルノデハナイカ、或ハ社會不安ト云フヤウナコトガ之ニ依ツテ助長サレルノデハナイカト云フヤウナ心配モアルノデアリマス、今日ノ如ク民主主義ノ叫バレテ居リマスル時代ニ於キマシテ、斯ウ云フ緊急勅令ノ形

デ以テ今後國民ノ利害休戚ニ極メテ重大ナル關係ヲ持ツテ居リマスル色々ノ施策ヲ、政府トシテ御實行願フコトハ如何カト思フノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテドウ云フ御考デイヤラシヤラレマスカ、此ノ點ヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ第二ニハ、他ノ勅令ニ依ツテ

第四部第八類 金融緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會議事速記録第七號 昭和二十一年七月二十三日【貴族院】

デアリマスガ、寧ろ積極的ニモツト良イ質ノ石炭ヲ餘計ニ増産スルトカ、或ハ生鮮食料品ニ付テモ、モツト餘計ニ出ルトカ云フヤウナコトニ付テ獎勵スル意味ニ於ケル何カ適當ナ施策ハゴザイマセヌカト云フコトヲ伺ツタノデゴザイマスルガ、是等ハ將來大イニ考ヘルト云フ御答辯デアリマシタガ、私ハ是等ノコトニ付キマシテモ、政府ガ各方面ニ或一ツノ目的ニ向ツテ協力シテ御施策ヲ進メテ戴カナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、此ノ點モ亦緊急勅令トシテ御出シニナツテ居リマスルガ、前ニモ金融ノ方面ノ點ニ付テ申上ゲマシタト同ジヤウニ、今後ドウ云フヤウナ御考デ居ラレマスルノカ政府ノ御方針ヲ承リタイノデアリマス

○國務大臣(石橋甚山君) 御答へ申上ゲマス、第一ノ御質問ハ、金融緊急措置令等斯クノ如キ緊急勅令ニ依ツテ斯クノ如キ重大ナル問題ヲ處理スルコトハドウカ、之ニ對シテ、政府ノ考ヘ方ハ如何ト云フ御尋カト存ジマス、無論我々ハ今日ノミデナク過去ニ於テモ、緊急勅令ノ如キモノヲ以テ重大ナ措置ヲ行フト云フコトハ決シテ好マシイコトデハナイト云フコトヲ、何レノ政府デモ承知シテ居ツタト存ジマス、況ンヤ今後ニ於テハ斯ク様ナコトハ無論出來ナイコトニナルコトト考ヘテ居リマス、唯金融

ニ關スル此ノ金融緊急措置令等ニ付キマシテハ、實際當時ノ事情トシテ已ムヲ得ナカツタモノト考ヘラレマスコトハ、若シ昨年ノ十二月衆議院ノ解散ガナク、其ノ後順調ニ、或ハ解散ガアリマシテモ其ノ後順調ニ總選舉ガ行レマシテ、議會ガ前内閣當時ニ豫定通りニ開カレテ居ツタト致シマスレバ、財政等ノ施行ガ行レマシテ、ソレニ依ツテ金融其ノ他ノ處置モ計畫通りニ進ミ得タモノト考ヘルノデアリマス、然ルニ總選舉ハ延ビルニ從ツテ議會ノ開會ガ遅レル、豫定ノ財產稅ハ容易ニ實行出來ナイ、斯ウ云フコトノ爲ニ其ノ間ニ種々ナル經濟間ノ動キガ起リマシタノデ、已ムヲ得ズ金融緊急措置令等ヲ施行シタト考ヘラレマスノデ、當時トシテハ是ヨリ外ニ手ノ打チヤウハナカツタト存ズルノデアリマス、デ、私ガ濫濼大藏大臣カラ引繼ガレタ事項ノ中ニモ、遅クモ五月位迄ニハ、此ノ金融緊急措置令ヲ出シマシタ後ノ處置トシマシテモ、五月位迄ノ間ニハ跡始末ヲスル積リ計畫シテ居ツタノデアルガ、ソレガ實行ガ出來ナカツタヤウナコトガアリマシタガ、如何ニモ其ノ通りデアルト存ジマシテ當時ノ當局者ニ實ハ私同情ヲ致シテ居ル次第デアリマス、デアリマスカラ、過去ニ斯ウ云フコトヲヤリマシタコトハ私トシテモ致シ方ガナカツタト考ヘマスガ、今

後ハ無論斯様ナコトデナク、殊ニ憲法モ改正憲法ガ實行サレマスレバ、緊急勅令ノ如キモノノ必要ハナクナルモノト考ヘテ居リマス、斯様ナコトハ起ラナイモノト私考ヘテ居リマス、其ノ次ニ、第二ノ御質問ハ價格調整補給金ノコトデゴザイマスガ、是ガ一向實效ヲ擧ゲテ居ナイデヤナイカト云フ御話デアリマス、是ハ確ニ十分ノ實效ヲ擧ゲテ居ルト、過去ノ成績ニ付テハ申上ゲ兼ネルコトヲ、甚ダ遺憾ト存ズル次第デアリマス、併シ之ニ付テハ、一ツ強力ニ改革ヲ施シタイト思ヒマシテ、石炭ニ付テハ既ニ其ノ方法ヲ現在講ジテ居リマス、遠クナイウチニ必ズ石炭ハ増産ヲスル、殊ニ御話ノ品質ノ良イ石炭ヲ増産スルト云フ方針ヲ確立致シマシテ、若シモソレガ出來ナケレバ、之ニ關與シテ居ル炭礦業者ヲ初メトシテ大イニ一ツ、腹ヲ切ツテ賈ヒタイト云フ位ノ勢ヒデ致シテ居ル次第デアリマス、其ノ外ノ生鮮食料品等ニ付キマシテモ是ハ今急激ニ變ヘルコトハ影響ガ多イモノデアリマスカラ出來マセヌガ、是モ現在話合フシテ居リマシテ、今迄ノヤウナコトデナク、假ニ各補給金ヲ續ケルト致シマシテモソレガ效能ガアルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、此ノ點ハ現在ノ政府ノ一番重要ナ問題トシテ處理ヲ致シ覺悟デ居リマス

○種田虎雄君 チョット速記ヲ止メテ戴ケマセヌカ
○委員長(男爵周布兼道君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)

○委員長(男爵周布兼道君) 速記開始、他ニ大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ
○種田虎雄君 先程私ガ申上ゲタ中ニ、新圓ノ偏在シテ居ルト云フコトニ付テ同僚ノ仲間デ可成リノレツ氣ニ病ンデ居ル方ガアリマスガ、先般來御當局ノ御意見ハ十分委員會トシテ承ツテ居リマスノデ、私ハ是以上彼是レ申上ゲタモ、ソレハ意見ノ相違ト云フコトニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、要スルニ預金フシテ正直ニ生活ヲシテ居ツタト云フ者ト、新圓ヲ退藏シテサウシテ或ハ財產稅ヲ免レル目的ナリ、或ハ所得稅ヲ課セラレナイヤウニ色々ノ手デ以テ退藏シテ居ラレル階級ニ對シテ、何等ノ手ヲ打タズニ置カル、ト云フコトハ、極メテ不正デヤナイカ、是ガ社會不安ヲ招クノデヤナイカト云フコトガ、相當強ク論議サレテ居ルノデ、此ノ點ニ付キマシテハ色々御考ヘモゴザイマセウガ、重ネテ一ツ政府ノ方デ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ特ニ御願ヒシテ置キマス

○國務大臣(石橋甚山君) 御注意誠ニ有難ウゴザイマス、十分研究致シマス、是ハ非常ニ關聯スル所

ガ多イモノデゴザイマスカラ、公平、不公平ノ觀點カラ見ルトサウ云フコトニナリマスガ、又外ノ方面モアリマスノデ、ナカノ實ハ考ヘテ苦心モシテ居ルノデアリマスガ、御話ノ趣ハ十分二分ツテ居リマスカラ、十分ソレヲ心ニ留メマシテ、適當ニ處理致シタイト思ヒマス

○子爵瀧脇宏光君 是ハ大臣閣下デナクテ結構デゴザイマスケレドモ、是モ今同僚ノ間デ色々問題ト相成リマシタノデ、チョット御同ヒ致シタイノデアリマス、此ノ前ニ確カ御示シ願ヒマシタノデスガ新圓ノ分布狀態、其ノ中ニ百七十五億餘ガ農漁村、銀行手持ガ二十五億ト云フ數字ヲ御示シマシタガ、此ノ百七十五億ガ漁村ニドノ位アルカ、農村ニドノ位アルカ、或ハ此ノ頃非日本人ト云フコトヲ新聞デ言ツテ居ルガ、其ノ非日本人ノ手ニドノ位人ツテ居ルノカ、此ノ細カイコトハ勿論正確ニハ出來ナイガ、何カ材料トシテ御取リニナツテ居ラレルデアリマセウカドウデアリマセウカ、御無理ナ質問ダト存ジマスケレドモ、チョット御尋ネヲ致シテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(石橋甚山君) 實ハ其ノ調査ハ今ノ所出來テ居リマセヌ私共ノ方デモ日本銀行其ノ他ニ言フテ出來ルダケ調査シテ居ルノデアリマス、如何ニモ矢張り推測バカリ

デアリマシテ、的確ナ材料ガ得ラ
レマセヌガ、併シ其ノ中ニ又租稅
其ノ他ノ方面ノ關係カラ或程度ノ
モノハ分ラウト思ツテ、精々調査
ニ努メテ居リマス

○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ
御質問ハゴザイマセヌカ、御質問
ハ是ニテナイヤウニ考ヘラレマス、
就キマシテハ討論ニ移リタイト存
ジマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(男爵周布兼道君) 御異
議ナイト認メマス、御發言ノ方ハ
願ヒタイト思ヒマス

○男爵八代五郎造君 此ノ委員會
ニ付託サレマシタ案件ハ、今日ノ
事情カラ已ムヲ得ヌモノトシテ全
部承認スルコトニ賛成致シマス、
此ノ緊急勅令ハ前内閣ノ殘サレタ
モノデアリマシテ、是ノ結果ニ付
テ現内閣ノ方々ニ色々ノコトヲ申
上ゲルノモ若干御氣ノ毒ノヤウニ
思ハレルノデス、デアリマスガ、
此ノ全體ノ金額カラ見マスルト、
戰爭前ノ總豫算ノ何年分カニモ相
當スルヤウナ大キナ金額デアリマ
ス、斯ウ云フヤウナコトヲ今後再
ビシナイト云フコトハ、先程大藏
大臣カラノ御答辯モアリマシタノ
デ、其ノ點ハ了承シテ居リマス、
唯色々施策ヲ行ハレル上ニ於テ當
事者ヲ鞭撻スル上ニ、先程モ大臣
ガ申サレマシタヤウニ、切腹ササ
セルトカ云フヤウナコトガアリマ
シタケレドモ、私ハ率直ニ申上ゲ

マス、サウ云フヤウナ心持ソレ
自身ハ口ダケニ現レテモ、實際サ
ウ云フコトヲ心ノ中カラ考ヘテ居
ル人ガ近頃アルカドウカ、甚ダ心
許ナク思フノデアリマス、私ノ郷
里ノ近所ニ木曾川ト云フ川ガ流レ
テ居リマシテ、其處ニ千本松原ト
云フ古蹟ガアリマスガ、是ハ徳川
幕府ノ頃ニ薩摩ノ士ガアノ木曾川
ノ堤防工事ニ從事シテ居リマシテ
豫算ガ非常ニ超過シテ、其ノ責任
ヲ執ツテ、堤防ノ上ニ二十數人ノ
士ガ端坐シテ切腹シタト云フ、其
ノ古蹟ナンダサウデアリマス、サ
ウ云フヤウナコトガ今日果シテ有
リ得ルカドウカ、又サウ云フコト
ヲシテシマツテモ、殘サレタ國民
ソレ自身ハ矢張り困ルノデ、切腹
ナドト云フコトハナサラナイデ、
跡始末ヲ良クシテ戴キタイ、斯ウ
云フ希望ガアルノデアリマス、ド
ウゾ現内閣ノ諸公モ、前内閣ノ殘
サレタコトヲ十分ニ跡始末ナサル
ヤウニ折角御盡力願ヒタイ、是ダ
ケノ希望ヲ附ケマシテ本案ニ賛成
スル者デアリマス

○委員長(男爵周布兼道君) 私ハ
討論ニ移リマス前ニ一言申上ゲル
コトヲ取り落シマシタノデ、此ノ
際改メテ申上ゲマス、實ハ本委員
會ニ付託サレマシタモノハ金融緊
急措置令他十一ノ承諾ヲ求ムル案
件デアリマス、何分數ガ多ウゴザ
イマスノデ、之ヲ如何ニシテ討論
ヲ願フカト云フコトニ付キマシテ

ハ、皆様ニ御諮リマシテカラ決メ
タイト思ツテ居リマシタガ、既ニ
只今八代男爵ノ全體ニ對スル御發
言モゴザイマシタノデ、如何致シ
マセウカ、御諮致シマス

○種田虎雄君 一括シテ戴イテ結
構ダト思ヒマス

○委員長(男爵周布兼道君) ソレ
デハ一括シテ之ヲ討論ニ付シタイ
ト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス
カ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(男爵周布兼道君) ソレ
デハ左様致シマス

○種田虎雄君 私ハ過日來、再三
政府御當局ノ御苦心ノアル御答辯
ヲ承リマシタノデ、全部ノ勅令案
ニ對シマシテ事後承諾ヲ與ヘルコ
トニ賛成デアリマス

○小野耕一君 私モ此ノ案全體ニ
對シテ承認ヲ致ス者デアリマス
ガ、唯今日迄……是モ現内閣ヲ責
メルト云フコトハ甚ダ何デアリマ
スガ、矢張りドウモ政府ノヤリ方
ガ、或モノニ對シテハ低物價政策
ヲ維持シナガラ、或モノニ對シテ
ハ政府自體ニ於テ例ヘバ煙草ヲ値
上ゲスルトカ、運賃ヲ値上ゲスル
トカ、其ノ他郵便料金ノ値上ヲス
ルヤウナコトガアツテ、ドウモ政
策ガ何處ニ決ツテ居ルノカ分ラヌ
ト云フコトニ、國民ガ不安ヲ持ツ
テ居ルノデハナイカト思ハレル、
ソレデアリマスカラ、從ツテ増發
サレタ紙幣モ還藏サレルコトガ多

イヤウナコトニナツテ居ルト思ハ
レマスカラ、ドウカ何分ノ機會ニ
於テ政府ハ其ノ方針ヲシツカリ國
民ニ示シテ、國民ハ安心シテ自由
預金ナリ何ナリヲドシ……シテ行
ケルヤウニト云フ希望ヲ述ベマシ
テ、此ノ案ニ賛成致シマス

○委員長(男爵周布兼道君) 討論
終結ト認メマシテ宜シウゴザイマ
スカ、別ニ御發言モナイヤウデゴ
ザイマス、終結ト認メマス、就キ
マシテハ是ヨリ採決ニ移リタイト
存ジマス、金融緊急措置令外十一
件全部ノ問題ニ供シマス、金融緊
急措置令外十一件ニ承諾ヲ與ヘル
コトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(男爵周布兼道君) 御異
議ナイト認メマス、是ニテ本委員
會ハ終了ヲ告ゲマシタ、誠ニ才晷
イ所ヲ御盡力ニ感謝致シマス
午前十一時五十三分散會
出席者左ノ如シ

岩見 蘭始君
伯爵壬生 基泰君
子爵瀧脇 宏光君
國務大臣 石橋 湛山君
大藏大臣 池田 勇人君
政府委員 大藏事務官 江澤 省三君
同

委員長 男爵周布 兼道君
副委員長 子爵綾小路 護君
委員 侯爵廣幡 忠隆君
侯爵中山 輔親君
荒川 文六君
男爵八代五郎造君
男爵紀 俊忠君
男爵斯波 正夫君
種田 虎雄君
小野 耕一君
片倉兼太郎君

昭和二十一年八月十九日印刷

昭和二十一年八月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局